

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和6年度は主に次の取り組みを実施します。 I. 安全 1. 良質な水道の維持 水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を行います。 II. 強靱 2. 施設強靱性の維持 浄水場整備では停電時にも継続して浄水場施設を稼働させるため、昨年度からの継続事業である「湖北台浄水場非常用発電機更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備監視操作制御盤及び活性炭制御装置盤更新工事」を完了させます。また、令和6年度から7年度までの継続事業として、市内配水管の末端圧力を監視するため「圧力末端局更新工事」を行います。水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います（総延長は約3kmの予定）。 3. 災害対応の強化 災害時に対応するため、県内水道事業体間における各種情報伝達訓練に参画するほか、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内で事故対応訓練を行うほか、必要な機材の整備も進めます。 III. 持続 4. 事業継続性の確保 新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返される中、ウクライナ情勢を契機とした原材料やエネルギーの価格高騰により、基本計画および経営戦略において見込んだ計画値と実績値とが乖離し、水道施設の更新や水道事業運営に多大の資金が必要となり、厳しい経営状況が続いています。このような状況に対応し、水道施設の計画的な更新を進めるため、基本計画および経営戦略を点検・総括し、計画期間の

中間点である令和５年度に、計画期間の後半にあたる令和６年度から令和１０年度までの計画事業の見直しを行いました。

令和６年度は、新たな計画に整合させ事業を進めていきます。

水資源の適正運用については、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた、取・受水管理を引き続き行います。

このほか、令和６年度より給水課の新設に伴い、漏水防止対策や有収率の向上に向けた新たな取り組みを検討します。

収益の確保については、料金未納者への徴収強化に努めます。また、水道未使用者に対する営業活動を行い普及率向上に努めます。

業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と、更なる業務効率化及び災害時の緊急対応などを検討します。

令和５年度より、給水装置工事申請件数が増加傾向にあり、給水業務量の増加に対応できるよう、組織の強化を図ります。また、職責に応じ必要な研修に積極的に参加して職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成を図ります。

５．財政健全性の確保

将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を活用します。また、国庫補助事業の調査・検討を行います。

６．将来につなげる新施策の考察

ＩＯＴ技術を活用したスマートメーターなど新技術の動向に注視し、引き続き導入に向けた調査・研究を進めます。また、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）１７の目標のうち、主に「１１ 住み続けられるまちづくりを」に取り組み、災害時における応急給水体制の充実を図ります。さらに、総合的な取り組みとして、使用電力の低減や事務で使用する紙の減量に努めるなど、ＳＤＧｓに向けた取り組みを推進します。

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針 に対する総合 評価	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、事業を実施しました。 「良質な水道の維持」では、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を実施しました。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を実施しました。 「施設強靱性の維持」では、浄水場整備として停電時にも継続して浄水場施設を稼働させるため、昨年度からの継続事業である「湖北台浄水場非常用発電機更新工事」は浄水場内の他工事と競合したことから工程を調整し、令和7年4月の完了を予定しています。また、「湖北台浄水場高度浄水処理設備監視操作制御盤及び活性炭制御装置盤更新工事」は令和6年度内に完了しました。令和6年度から7年度までの継続事業として、市内配水管の末端圧力を監視するため「圧力末端局更新工事」を実施しています。水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を実施し総延長約3 k mを更新しました。 「災害対応の強化」では、災害時に対応するため、県内水道事業体間における各種情報伝達訓練に参画するほか、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内で事故対応訓練を行うほか、新たに組立式の給水タンクを1基購入しました。 「事業継続性の確保」では、水道施設の計画的な更新を進めるため、基本計画及び経営戦略を点検・総括し、計画期間の後半にあたる令和6年度から令和10年度までの計画事業の見直しを行いました。水資源の適正運用については、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた、取・受水管理を引き続き行いました。このほか、令和6年度より給水課の新設に伴い、地上漏水の即時修理、地下漏水を早期に発見するための音聴調査による検知などの漏水防止対策や有収率の向上に向けた新たな取り組みとして、令和7年度に衛星画像を活用した漏水特定調査が導入できるよう準備を進めました。収益の確保については、料金未納者への徴収強化に引き続き努めるとともに、水道を未使用者の方々に対して、水道管の更新工事と合わせて給水の引き込み工事を行っていただけるよう積極的にアプローチして水道使用者を増やす取り組みを行いました。また、水道未使用者に対する営業活動を行い普及率向上に努めました。業務効率化

方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と、更なる業務効率化及び災害時の緊急対応などを検討しました。さらに職責に応じた必要な研修に参加することで職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成を図りました。また、妻子原浄水場内に、弁の開閉を行うためのバルブ操作の技能研修施設を設置して、水道管内の（水張り）洗浄作業の手順と注意点をバルブ操作実技により、漏水事故等に対して迅速に対応できるよう訓練し、世代を担う職員に対し、確実な人材育成や水道技術の継承に努めていきます。

「財政健全性の確保」では、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を借りました。また、国庫補助事業については、令和7年度からの事業採択に向けて、防災・安全交付金（水道事業）、上下水道一体効率化・基盤強化推進事業（水道事業）の要望書を千葉県に提出しました。

「将来につなげる新施策の考察」では、IoT技術を活用したスマートメーターなど新技術の動向に注視し、引き続き導入に向けた調査・研究を行いました。また、SDGs（持続可能な開発目標）17の目標のうち、主に「11 住み続けられるまちづくりを」に取り組み、災害時における応急給水体制の充実を図り、総合的な取り組みとして、再生可能エネルギーの活用や災害時における安定供給を目的として、湖北台浄水場内にPPA事業により太陽光発電設備を設置したほか、広報活動の一環として紙以外の方法で水道事業のPRができるデジタルサイネージを水道局内に設置しました。

令和 6 年度 課の目標管理書

課 名 : 水道局 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち経営課の令和 6 年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【持続】令和 6 年度は、令和 5 年度に見直した新たな「水道事業基本計画」及び「経営戦略」に整合を図り事業を進めていきます。財政面では水道施設の整備に要する費用について、企業債を活用すると共に、国庫補助事業の調査・検討を行います。また、次世代の水道実務を担う人材育成のための研修を行います。

【強靱】危機管理体制強化のため、県などが行う情報伝達訓練を実施し、災害時における局内と外部との情報共有の充実を図ります。

2. 課の目標への取組結果

昨年度に引き続き、業務自体は、おおむね通常体制で対応することができました。

令和 5 年度に見直した新たな「水道事業基本計画」及び「経営戦略」と整合を図り、予算計上を行うことができました。財政面では、企業債を活用すると共に、国庫補助事業の調査・検討を行い令和 7 年度から国庫補助事業を展開していく予定となっています。今後も管路や浄水設備の更新工事の需要が増大することが想定されます。引き続き厳しい経営状況が続くなか、収支バランスを把握したうえで健全経営に努めていきます。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

「水道事業基本計画」及び「経営戦略」について、当初令和 6 年 5 月 31 日の完了を予定していましたが、令和 7 年 3 月 31 日まで遅延して完了することになりました。

新たな財源を見いだせたことについては、大きく評価できると思います。引き続き水道事業の経営について、調査・研究をしていきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後の課題として、水道事業の経営を持続可能としていくためにも、水道料金の適正化は避けては通れない課題であり、「水道事業基本計画」及び「経営戦略」が完成したことで、水道料金の適正化について進めていきます。また、昨今の大規模災害や水道の漏水事故も踏まえた耐震化事業については、加速させて事業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道事業の健全経営	
	担当部署名	水道局 経営課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道事業計画の進行管理		公用車管理
	契約事務		貯蔵品管理
	出納事務		料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（会計業務分）
	資金管理		
	決算調整		
	組織・人事管理		
	法務事務		
	広報活動推進		
	職員研修の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	62,964	0	令和4年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和5年度	決算見込額	40,004	0	令和5年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和6年度	当初予算額	61,020	21,505	令和6年度	4月1日時点 4.60 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	53,690	13,332		
	次年度へ繰越	24,398	0	令和6年度	年度末時点 4.60 0.00

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	職員一人当たりの営業収益（給水収益／損益勘定所属職員数）	千円／人	目標値	126,380	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500
			実績値	126,632	136,825	124,164	117,424			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	指標の数値が若干下がっているのは、年度の途中に職員が1名増となったためであり、今後も給水収益向上の取組と業務効率化の方策を引き続き検討していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和5年度に「水道事業基本計画」や「経営戦略」を見直したことから、令和7年度から10年度に向け、更なる給水収益の向上と効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業の運営に努めていきます。

令和6年度 課の目標管理書

課 名：水道局 工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け計画的な事業執行に努めます。

令和6年度は、主に次に掲げる取り組みを行います。

[安全]良質な水道の維持

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－「取水井維持管理活用方針」に基づき2号及び7号取水井の浚渫工事を行います。

[強靱]施設強靱性の維持

- ・浄水場整備－停電時に水道水を安定的に供給するため、「湖北台浄水場非常用発電機更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備監視操作制御盤及び活性炭制御装置盤更新工事」（ともにR5からR6の継続事業）を完了させます。

また、市内配水管の末端圧力を常時監視し効率的に浄水場を運用するため、経年劣化した圧力末端局の更新工事（R6からR7の継続事業）を行います。

- ・水道管路整備－船戸、中峠などの各地区で経年配水管路と基幹管路を耐震性の高い水道管に布設替える工事を行います。

[持続]事業継続性の確保

- ・浄水場系包括業務委託の着実な実施と官民連携により引き続き業務の効率化に努めます。

2. 課の目標への取組結果

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標の達成に向け、「我孫子市水道事業基本計画」に基づき事業を行いました。浄水場整備において、令和6年12月に湖北台浄水場再生可能エネルギー設備導入事業（PPA事業）に対する二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付決定を受け事業を優先したことにより、湖北台浄水場非常用発電機更新工事に遅延が発生し令和7年度に繰り越し継続して実施することとなりましたが、水道管路整備は予定どおり実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標の達成に向け、令和6年度に見直した「我孫子市水道事業基本計画」に基づき耐震管路布設替え延長の目標は年間5kmとして、耐震化率向上のため計画的な業務の執行に努めます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

水道事業を取り巻く環境の変化に応じて、浄水場規模の適正化の検討を行います。また、令和7年1月に策定した我孫子市上下水道耐震化計画に基づき、重要施設に接続する水道管路と急所施設（導水管）の耐震化を進めていきます。それに伴い、人材の確保に向け関係部署と協議を行います。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	浄水場施設の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	浄水場施設の更新業務			
	浄水場系包括業務委託			
	浄水場施設の維持管理業務			
	水質管理業務			
	取水及び受水管理			
継続費設定事業	湖北台浄水場非常用発電機更新工事（公契約） R5～R7年度 657,613千円 湖北台浄水場高度浄水処理設備監視操作制御盤及び活性炭制御装置更新工事 R5～R6年度 46,915千円 圧力末端局更新工事（公契約） R6～R7年度 132,000千円			
債務負担行為設定事業	浄水場系包括業務委託 R2～R6年度 946,676千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,598,048	0	令和4年度（年度末時点）		2.90	0.00
令和5年度	決算見込額	2,004,903	176,058	令和5年度（年度末時点）		2.80	0.00
令和6年度	当初予算額	1,781,015	294,462	令和6年度	4月1日時点	3.50	0.00
	補正後予算額	1,782,742	294,462				
	決算額	1,280,538	21,416		年度末時点	3.50	0.00
	次年度へ繰越	0	710,413				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	設備機器更新と実施計画の件数	件	目標値	13	7	4	7	8	7	7
			実績値	13	8	4	7			
活動 指標	浄水場維持管理業務終了件数	件	目標値	41	33	29	33	26	30	33
			実績値	41	33	29	33			
活動 指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
成果 指標	浄水場の適正な維持管理 （浄水場無事故割合）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
成果 指標	水質基準適合率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
		%	目標値							
			実績値							
		%	目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	良質で安産な水道水の供給を行うため、適切な浄水場の運用に努めた。また、老朽化した施設の更新を計画的に取り組んだ。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も安全で安心な水道水を供給するため、浄水場規模の適正化の検討を行いながら計画に沿った浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道管路の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道管路の更新改良・耐震化			
	水道管路施設維持修繕			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	633,564	0	令和4年度（年度末時点）	3.50 0.60
令和5年度	決算見込額	463,604	0	令和5年度（年度末時点）	3.30 0.60
令和6年度	当初予算額	660,257	0	令和6年度 4月1日時点	4.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	604,699	0	令和6年度 年度末時点	4.30 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	耐震管布設替え延長距離	m	目標値	3,605	5,526	3,646	3,036	4,533	4,713	5,000
			実績値	3,537	5,453	3,416	2,989			
活動 指標	修繕工事実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	配水管新設工事及び耐震管布設替え工事は、予定事業を全て完了しました。漏水対応は迅速に修繕し適切な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き水道管路の更新・耐震化を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。

令和6年度 課の目標管理書

課 名：水道局 給水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。令和6年度は、次の取り組みを行います。

【強靱】

危機管理体制強化のため、災害時や水道事故における応急給水体制の充実を図るほか、市民と連携した応急給水訓練等を行います。

【持続】

令和5年度に見直した新たな「基本計画」及び「経営戦略」に整合を図り事業を進めていきます。水道事業の根幹となる給水収益の増収のため徴収業務を強化します。料金・給水・会計業務包括受託事業者と連携して、引き続きお客様サービスの向上と業務効率化に努めます。

2. 課の目標への取組結果

危機管理体制強化のため、応急給水体制の充実を図るほか、組立式給水タンク及び給水袋を調達しました。なお、我孫子市総合防災訓練及び避難所運営訓練にて応急給水を実演し、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。

令和5年度に見直した新たな「基本計画」及び「経営戦略」と整合を図り、事業を推進することができました。

徴収業務は、給水停止を含め対応することができました。

また、委託期間が令和7年度から5か年となる次期料金・給水・会計業務等包括委託の受託者を選定しまし

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

今年度の評価としては、遅滞なく完了することができました。引き続き水道事業の根幹となる料金徴収業務の拡充及び水道料金の適正化について調査・検討を進めていきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和7年度の我孫子市水道事業給水条例の一部改正に向け、各種規程や様式等の見直しを進めていきます。

また、給水装置工事設計施工基準は、平成28年度から見直しを行っていないことから、令和7年度に見直しを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	応急給水体制の充実		
	担当部署名	水道局 給水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力 の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。			
関連する市の計画等	地域防災計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	応急給水体制の充実			
	応急給水設備の充実			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,987	0	令和4年度（年度末時点）		0.25	0.00
令和5年度	決算見込額	1,511	0	令和5年度（年度末時点）		0.25	0.00
令和6年度	当初予算額	1,628	0	令和6年度	4月1日時点	0.31	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	1,660	0		年度末時点	1.15	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市民が参加する応急給水訓練の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	0	3	3	3			
活動 指標	水道局独自の訓練（水道局職員対象）の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	3	3			
成果 指標	各種訓練に参加した水道局職員の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	給水袋や組立式給水タンクを調達した他、給水車の操作や組立式給水タンクの組み立て訓練を行い、災害の危機管理体制を強化しました。 総合防災訓練や避難所運営訓練で応急給水活動を行うことで、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。その他、災害時を想定した各種情報伝達訓練を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も災害や水質事故等に即応できるよう、危機管理体制の強化に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	お客様センターの運営	
	担当部署名	水道局 給水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行っていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	料金の調定・徴収・収納		
	料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（料金・給水業務分）		
	滞納整理及び給水停止処分		
	給水装置の維持管理		
	給水装置工事監理		
	量水器取替・修繕業務		
	指定給水装置工事事業者の審査		
	貯水槽水道の衛生管理指導		
	直結・増圧給水の普及促進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	料金・給水・会計業務等包括委託 R2～R6		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	271,506	0	令和4年度（年度末時点）	5.74 0.00
令和5年度	決算見込額	295,894	0	令和5年度（年度末時点）	5.74 0.00
令和6年度	当初予算額	344,738	0	令和6年度	4月1日時点 4.28 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	290,089	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.35 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	料金等の請求総件数	件	目標値	688,000	692,000	699,000	706,000	708,000	709,000	710,000
			実績値	693,818	699,875	706,581	714,428			
成果 指標	収納率（過去5年度の収納額合計／過去5年度の調定額合計）	%	目標値	99	99	99	99	99	99	99
			実績値	99	99	99	99			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	料金等の請求総件数が増加した中、収納率は維持しているため、事業を適切に実施しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き収納率の向上に努めるとともに、経費の削減に努めます。